

Rep
ort

身近な自然の観察・記録活動 石神井川緑道版

2021.9.30

一人ひとりの自主活動 だれでも参加できます

活動：月2回(第二木曜日・第四金曜日)10:00より(雨天中止)
コース：帝京大学付属病院北詰・御成橋たもと → 金沢橋
問合せ・連絡先：090-8646-9757 木村松夫 com-matchan@hotmail.co.jp

10月の石神井川観察は、10/14(木) 10/29(金)

10:00 帝京大学病院北側の御成橋たもと出発

秋の花はもちろん春から冬まで なんでもありの石神井川緑道



秋らしい気温になったかと思えば真夏日がやってくる気候の下で



9/30の石神井川緑道の観察・記録活動は約1か月半ぶり。9月の最終日はまだ秋には遠いと思うのですが、植え込まれたドウダンツツジ(上)はすでに紅葉を迎えていました。この樹木は紅葉が美しいことでも知られていますが、気温が急に低くなってそれが幾日も続くという気候ではないので、今年はあまりきれいではありません。業者による季節違いの剪定がそれに輪をかけて美しさを損ねています。まじまじと見ると面白い色・形をしたササラウツギ(右上)とガクアジサイ(右下)のそれぞれの実。オブジェになりそう。

季節による植物の開花の順番も大きく乱れているこの頃

イヌムギとカモジグサは似たようなイネ科の植物ですが、普通は春の早い時期にカモジグサが開花し、それが終わるとイヌムギが開花し咲き分けてきました。しかし、最近は年に何回も開花と結実を繰り返すようになっていきます。9/30は**イヌムギ**（下左）の実りが終わって茶色の籾殻を付けているのに、**カモジグサ**（下右）は青々と咲いていました



チチコグサモドキ（左下）も開花は春の早い時期で、これに入れ替わるようにウラジロチチコグサが旺盛になってきて、チチコグサモドキは消えるのですが。この日はウラジロチチコグサは見当たらず、チチコグサモドキの若い葉と花が咲いていました。

「**紅く咲いても冬の花**」の**サザンカ**は早くも蕾を持ち、春の花**ハルジオン**にも蕾が・・・。これでいいのか！？



ハルジオン（左）の展葉は前年の秋からだということは分かっていますが蕾を膨らませるのはちょっと早いのでは？それとも違う草？

サザンカ（上）もこんなに早く蕾を持ったら『さざんかの宿』を歌う大川栄策さんも調子が合わないのでは。

まともなのは、右の**セイタカアワダチソウ**

ウ。この花、蕾の時から泡だっ見えることを発見しました！

